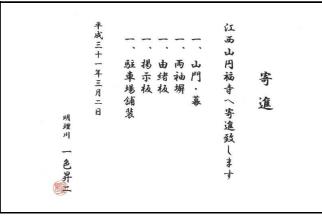
江西山円福寺 山門落慶法要 (平成31年3月2日)







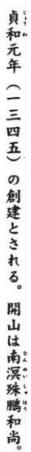


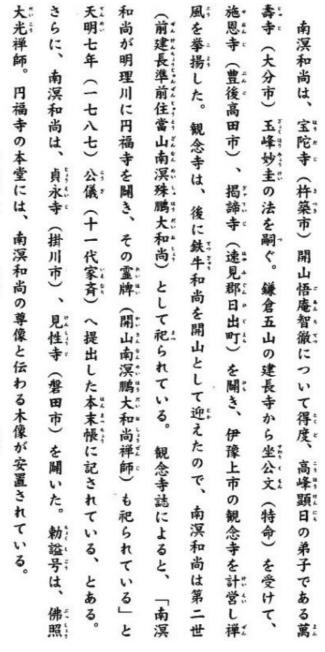
臨済宗 東福寺派 江 西 円 福禅寺

本尊 阿弥陀如来

石鎚山

脇佛 如意輪観音





堂と庫裡が再建された時、 その観音信仰は宗派と氏姓を超えて明理川に観音講として広がり、 に円通庵の [宝永四年 (一七〇七) 歿] 後に、 つて明理 円福寺は、 観音堂が円福寺の境内へ移築される。 川には円通庵という寺があり、 通海徹公和尚 [正徳元年(一七一一)示寂] によって再興され 如意輪観音は秘仏として円福寺の本堂へ合祀される。 である。 そこには山路右衛門により如意輪観音が祀られ、 開基は、 そして、 初代明理川庄屋一色新兵衛重好 昭和二十九年 昭和八年 (一九三三) (一九五四) に本

平成二十五年(二〇一三)に境内正面へ駐車場を拡張。

平成二十七年 (三〇一五) に南溟和尚六百五十年遠諱法要を厳

平成三十一年 (二〇一九) の常楽会に際し、 円通庵開基並びに一色家先祖供養の為、

末孫から寄進を受けて山門が再建される。

江西山 円福禅寺 十世 祖岳和尚 代



山門 地鎮祭

(平成30年6月26日)









山門 上棟 (平成30年9月5・6日)

